

スエニヨ

シネスコ版

原稿 No. 328
約集 No. 146
中口 No. 16P

No. 493

花やかい 郷土芸能
一花笠踊り - 広島 134P

一、海びらき

静岡

河童共が待ちに待った海水浴シーズン、いよいよふたあけです。ここ静岡県伊東市の松原海水浴場は、この日が海開き。初水を神前に供える神事が済むと市内の女子観光従業員が風船を手に一勢に海に駆け込みます。今年辺りから本格的に流行する気配を見せるのが水上スキー。高島田に水着といういでたちの市内の芸者さん達は、砂浜で一通りのコツを呑み込んだ後、いよいよ海での実施訓練。しかし波乗りは難しいとみえて、波間に漂う彼女達の姿、どれもこれも片手にカッターをもちあげているのです。

一、山頂で平和祈願

富士山

富士山の山開きを前に、このほど、ひと足先に陸上自衛隊の登山演習が行われました。この日富士山は風速三十米、連隊旗を揚げて山頂に大砲を引上げる自衛隊。富士山初まって以来とか。しかし「平和祈願」の為の礼砲を「日本一」のご来光にさげようというものです。一行は祈願式を行ったのち、ご来光のりゅう弾砲が発射されました。このあと、ご自慢の銃剣術などが行われ、夏山に先きがけた自衛隊の山岳風景でした。

アイモ風土記

一、基地ヨコスカ

神奈川

横須賀は、太平洋の動く要塞といわれるアメリカ第七艦隊の基地に使用されています。巨大な航空母艦が入港するたびに横須賀の町は大変な賑いをみせます。前線から帰ってきた兵士たちは基地の酒場街へなだれ込み、夜昼を問わず大変な騒ぎをみせるのです。現在こそ人口二十七万の基地横須賀も明治初年はわずか六十戸というちっぽけな漁村でした。

しかし日本海軍の軍港になってからは急速に発展、敗戦後も米軍の基地として使用されてきました。

しかし激烈な米ソの核兵器競争の中で原子力潜水艦の横須賀寄港がもたらげられ、横須賀は勿論、横浜、東京といった近郊都市の住民たちの恐怖の頂点に達しました。

六月十九日の参議院外務委員会で湯川博士が原子力潜水艦の危険を説き、六月二十三日には横須賀へ十万人の人々が集って寄港反対の集会を開きました。

しかし町にデモのある日は米兵は外出禁止となり、酒場街や商店街は売上げがガタ落ち。基地をめぐる市民たちの複雑な対立が、いま原子力潜水艦問題を中心にして再燃しようとして

64302

4P3

7P

8P